

登録コード	E9107200	開講年度	2026				
授業科目	心理学的支援法					担当教員	高橋 知音
英文授業名	Group and Organizational Psychology					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	
講義室	教育N302講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	公認心理師科目
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				多様な心理学的支援法について理解し、支援が必要な人に対するアプローチを提案できる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				グループワークの技法の一つである構成的グループ・エンカウターの実習を通して、ファシリテーターとしてワークを展開できる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	・2人1組でファシリテータとなり教員の指導を受けながらエクササイズを計画・実施する。展開案を作成し、授業外の時間にアポイントメントをとり、指導を受けた上で展開案を完成させる。また、受容でワークを展開できるよう、必要な材料等を事前に準備しておく。 ・複数のエクササイズからなるエンカウター・プログラムをグループで計画する。 ・プログラムはパワーポイントを使って発表する。						
(5)授業計画	第1週 イントロダクション（構成的グループ・エンカウター入門） 第2週 エクササイズの体験、グループ分け 第3週 関係作りのワーク 第4週 他者理解のワーク 第5週 自己理解のワーク 第6週 課題解決のワーク 第7週 コンセンサス実習 第8週 ノンバーバルコミュニケーション 第9週 アサーションのワーク 第10週 価値観のワーク 第11週 自己開示 第12週 集団での意志決定 第13週 感受性訓練 第14週 ワークのふりかえり 教育実習による欠席分については、授業内容に応じて適宜指示をします。 授業最終回に授業アンケートを実施します。						
(6)成績評価の方法	・構成的グループ・エンカウターまとめの課題：20%、エクササイズの計画、実施、事後レポート：40%、授業におけるディスカッションへの参加：20%、代表的な心理療法に関する課題 20% ・90点以上で秀, 80点以上で優, 70点以上で良, 60点以上で可, 59点以下は不可						
(7)成績評価の基準	心理学的支援法の歴史、概念、意義、適用および限界を理解し、グループワークの展開をすることができたら「卓越している」、一部に不十分な点があるだけなら「かなり上にある」、いくつかの部分に不十分な点があれば「やや上にある」、いずれも不十分な点を残しつつもすべての課題をこなすことができれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	テキストを読み、内容をまとめることで構成的グループ・エンカウターについての理解を深める。 2人1組でファシリテータとなり担当教員の指導を受けながら60分のエクササイズ（ワーク）を計画・実施する。 エクササイズ展開に関する討論、実施中のビデオを見て事後レポートを作成し提出する。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	・実習中には自己開示が要求される。自分について表現することに抵抗が強く自信がない場合、受講するかどうかが授業担当教員と相談する。 ・実習中のできごと、会話の内容などを授業外で話題にしない。守秘義務を意識すること。 ・エクササイズ実施の授業では、始業のチャイムと同時にファシリテーターが活動を展開する。途中参加することはできないので、始業チャイムに遅れた場合は欠席扱いとなり、授業は観察のみを行う。 ・参加人数に応じて材料を変更しなければならない場合もあるので、欠席する場合はできるだけ早くメールで連絡する。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	tomonet@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	正保 春彦（著）「心を育てるグループワーク：楽しく学べる72のワーク」 金子書房						
【参考文献】	日本心理学諸学会連合 心理学検定局 「心理学検定 基本キーワード[改訂版] 実務教育出版						